

畜産部会分科会報告●肉牛分科会

世界に通用する 有機畜産を目指して

Report

■有機畜産法制化の動き

当初予想されていた2004年春の施行が遅れており、見通しとして2004年10月頃になりそうだというお話がありました。

日本の有機畜産の基準は、既にある日本の法律と、コーデックス基準を元に作られます。コーデックス基準とは ISO・IEC・WTO が元になってきた国際標準規格です。

■有機畜産の問題点

有機畜産を本格的に目指す場合の考えられる問題点を挙げてもらいました。①有機の肉と他の肉が混ざる危険性がある。②数頭しかない家畜のために、屠畜内作業行程を特別にしてくれるかどうか。③飼料工場は専用が望ましい。④屠畜場法の変更は望めない。

そして現場で実際に運用された際は、日常の業務に追われる生産者が、本当のことを記録してくれるか、基本的な問題があります。これは検査員、生産者にとって、記録がお互いの身を守る為のものでもあると考えることで解決できるとの説明がありました。

■らでいっしゅぼーやの目指す畜産

商品2課の倉嶋課長からは、他社よりリードするため、らでいっしゅぼーやは高度環境保全型畜産を目指すこと。その中で有機畜産は目指すものの1つとしていくことの説明がありました。

最後に高橋祐之副会長より「短角部会をどう進めるか。ただ物を流す

のではなく、エリアサークルなど参加しながら、生産者としてどう取り組むか、Radixの会を中心として知恵をもらいながら進化していきたい」との挨拶をいただきました。

春から開始した畜種別分科会がやっと全て終了しました。共通のテーマとしてきた有機畜産の施行に向け、会員さんに有益な活動をしていきたいと思います。(事務局 鈴木)



らでいっしゅの北海道センターで開催。参加者は、全部で11名でした。

地域の活動計画を練る

農産地域ブロック委員会報告

新しいことにも 挑戦

…中部ブロック委員会

●9月20日(土)

名古屋市にて開催され、代表の佐野元彦さん(静岡県)、佐藤泰司さん(岐阜県)、福広博敏さん(三重県)、事務局竹内の4名で進められました。

議題の中心は年度末の総会を控え、久々の中部ブロック集会の開催内容について。小祝さんの勉強会中心の農産部会ですが、委員の皆さんからは、普段聞くことができない異業種の方のお話が聞けるのもいいという意見も出て、どんな方が講演されるのか、お楽しみです。

このほか、事務局・成田の作成している肥料関連の資料について、今後ある一定の情報開示のできるメーカーを調査、勉強会を実施するなど、Radixで取組め

るものがあるのではないかなどの意見交換がありました。(事務局・竹内)

【次回ブロック集会:2004年1月17日(土) 13:00~17:00名古屋市(センター近隣場所)にて】

※午前中に希望者を募って今年開設した中部新センターの見学を企画します。そこで会場をセンター近隣にして、昼食はらでいっしゅ食材を生産者名前入りで出しているお店があるのでそこが利用できれば、という趣向となりそうです。

4年目突入! 北海道 土づくり勉強会

…北海道ブロック委員会

●9月28日(日)

委員会では主に集会のことが話し合われました。確認された2つについてご報告します。

秋冬のブロック集会は、4回目になる土づくり勉強会と併せて、11月27日(木)・28日(金)で開催します。1日目の午後に堆肥

場見学と今年一年間生産者の皆さんにご協力いただいたじゃがいも・玉ねぎの生育調査、収穫物の成分調査の報告をらでいっしゅぼーや農産部から報告。

2日目の午前はブロック集会。午後から土壌分析と施肥設計の講習をJBFの小祝政明さんをお願いします。堆肥場見学は毎年見学している坂東俊和さんの更に改良された堆肥と、太田順夫さんと布施芳秋さんの新しくできた堆肥場を見学をする予定。これまでより時間を延長して2日間しっかりと勉強し、将来の活動を考える、新しい集会になります。

また、年始に開催したかあちゃん集会の2回目の集会を、年明け1月~2月初旬の間に開催することを確認。日程についてはブロック集会の場で生産者の都合を聞き、内容は前回提案のあったかあちゃんの工夫展などを検討していくことにしました。(事務局 鈴木)